

事務事業名		郷土博物館企画展等開設事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	4	豊かな心を育む教育・文化づくり				担当組織	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館
	政策	2	生涯にわたり学びのあるまちづくり				担当係			担当課長名	山口明良
	施策	2	歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進				新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	地域の歴史・文化の理解の促進				実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	14848	一般	10	4	4	郷土博物館企画展等開設事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S58年度～ 年度		根拠法令 条例等	博物館法 佐野市立博物館条例					
					事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
							任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営			
						事業分類		講座・教室・イベント等開催事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
佐野市の考古・歴史・民俗等に関する特定のテーマを設け、期間を区切って借用資料等による企画展示を行うとともに、記念講演会等を開催する。	・第61回企画展「原田家文書からたどる田中正造」(5/3～6/15 3,883人) ・栃木県博地域移動博物館「カエルくんたち!大集合!!」(7/12～8/31 5,483人) ・収蔵資料展「くらしのうつりかわり～古い道具と昔のくらし～」(1/4～2/11 3,004人) ・唐沢山城跡国指定史跡化記念第62回企画展「上杉謙信がやってきた」(2/21～3/31まで1396人) ・オープニング講演会「唐沢山神社蔵大鎧の来歴と特徴」(2/21 82人) ・記念シンポジウム「なぜ、謙信は唐沢山城にこだわったのか」(3/8 154人)						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	企画展等開催延べ回数	回	4	4	4		
	企画展等入館者数	人	19,723	15,005	14,200		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民及び市外からの入館者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市民人口	人	123,182	122,582	121,522		
	企画展等入館者数	人	19,723	15,005	14,200		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

郷土の考古・歴史・民俗等について、展示を通して理解してもらう機会を作る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	企画展等入館者数/市民人口	%	16.0	12.2	11.7		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への愛着を育んでもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	佐野市の歴史と伝統を知っている市民の割合	%	91.6	93.1	93.5	94.0	94.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	426	489	830					
	一般財源	千円	1,763	1,322	1,721					
	事業費計(A)	千円	2,189	1,811	2,551	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			報償金	110	報償金	60	報償金	70		
			報償物資費	32	報償物資費	4	報償物資費	24		
消耗品費			68	消耗品費	111	普通旅費	27			
印刷製本費			1,014	印刷製本費	873	消耗品費	117			
業務委託料			420	役務費	394	印刷製本費	820			
作成委託料			545	作成委託料	369	通信運搬費	1,113			
						損害保険料	110			
				作成委託料	270					
人件費	人	2	2	2						
のべ業務時間	時間	480	480	480						
人件費計(B)	千円	1,868	1,892	1,892	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	4,057	3,703	4,443	0	0				

事務事業名	郷土博物館企画展等開設事業	担当部	教育総務部	担当課	郷土博物館	担当係	
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	--

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年郷土博物館の開館に伴い、広く愛郷心の育成に資するために開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	近年、生涯学習への関心が高まり、市民の参加型生涯学習意欲の高揚が見られるが、緊縮財政の中で経費の削減等が求められている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	大人だけでなく、子供が興味を持つよう企画展を開催して、入館者の増加に努めた。 唐沢山城跡国指定史跡化を記念して、文化財課と共催で企画展を開催した。企画展と合わせて関連事業で講演、写真展、シンポジウム等を実施し、企画展の内容充実にも努めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 郷土の考古・歴史・民俗等について、展示を通して地域の歴史・文化にふれる機会を与えることは、市民になどに地域の歴史と伝統を知ってもらい、郷土への誇りと愛着心を育むことにつながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 市民の文化活動を支援し、文化水準を向上させるのは、地方自治の役割である。多くの人々に見学の機会を安価に提供し、郷土に誇りと愛着心を持つ人々を育成することは、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、博物館の主要な事業であり、市民文化の向上発展に寄与するものであるとともに、企画展等により佐野市の貴重な収蔵資料等を展示・公開して後世に伝え、地域に誇りと愛着心を持つ人々を育成することは、博物館の重要な役割である。対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 入館者数は、企画展のテーマ(内容)により増減するので、博物館資料等の調査・研究の成果発表の場である企画展のテーマを精選して、館独自のもの・特色のあるものを取り上げたり、利用者の興味・関心の高い企画展を開催したりすることで、入館者数を増やすことが可能である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	類似事務事業名 理由・改善案
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 企画展を開催する際には、普段市民の方々が見ることのできない貴重で珍しい資料を他所から借用して来て展示することも、大切な使命である。しかし、基本的に美術梱包輸送費がなければそれは不可能である。企画展の内容によって、開催に係る経費は変わってくるが、事業費を削減すると、予算の範囲内の企画展しか開催することが出来なくなる。これ以上事業費を削減することも、人件費を削減することもできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 企画展を開催する際には、周知するためのポスター・リーフレット作成やサイン作成など、印刷製本費や作成委託料の経費が多くなる。見学する際に、応分の負担(入館料を徴収)をしてもらうことは、適正なものと考えられる。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 企画展を廃止・休止すると常設展示室のみの展示となり、入館者の大幅な減少が予想される。この事業は、博物館の主要な事業であるため、休止・廃止できない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 利用者がどんなことに興味関心をもっているのか、市民ニーズの把握に努め、関係各課と連絡を図りながら企画展の内容を充実させる。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上			○	維持			×	低下		×	×	企画展の内容をいかに充実させるかが課題である。文化財課、栃木県立博物館等と協議、調整を図りながら事業を進めていく。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上			○																			
維持			×																			
低下		×	×																			